

## 1-2. 共同研究

### ②公園緑地における防災技術に関する調査研究

防災公園とまちづくり共同研究会は、平成28年度に以下の活動を行った。

#### 1. 熊本地震調査活動の実施

平成28年4月14日、16日に発生した熊本地震に関連し、現地での調査を他の学協会※と共同して実施した。

##### (1) 第一回

日 程：平成28年7月1～2日

調査先：熊本市東部土木センターおよび市内の公園ほか（ヒアリングに向けた打合せを含む）

参加者：1名（事務局）

##### (2) 第二回

日 程：平成28年8月7～8日

調査先：熊本市内の公園 5箇所にて公園愛護会関係者にヒアリング ほか

参加者：3名

※熊本地震都市公園利用実態共同調査の参加団体（五十音順）

熊本市都市政策研究所，公園財団，国土交通省国土技術政策総合研究所，大都市都市公園機能実態共同調査実行委員会・日本公園緑地協会，都市緑化機構 防災公園とまちづくり共同研究会，日本造園学会（大阪府立大学，九州大学，滋賀県立大学）

#### 2. 対外発表

上記の熊本地震での共同調査に関して、得られた成果を共同で発表した。またあわせて下記学会に当研究会の活動の一環として参加し、研究発表・事例報告を行い、活動をアピールすると共に意見交換を行った。

##### 【公表資料】

名 称：平成28年（2016年）熊本地震 都市公園利用実態共同調査報告書

平成28年12月

公表方法：各団体HPで公表したほか、熊本市ほかへ提供した。

<https://urbangreen.or.jp/info-tech/greenplathome/seminar/kumamoto-report>

（機構サイト）

##### 【学会発表】

名 称：平成28年度 日本造園学会九州支部大会 事例・研究発表会

日 時：平成28年11月28日

場 所：九州大学芸術工学部キャンパス

人 数：2名：会員＋事務局

発表内容：

熊本地震で都市公園の果たした役割 ―発災直後段階での避難利用を中心として―  
手代木 純、岡村 淳

※あわせて、研究会の活動等をパネルおよびリーフレットにより紹介した。

### 3. 現地調査の実施

最近の防災公園整備の実態調査を行い、管理状況等を関係機関にヒアリングした。

日 程：平成28年4月20日（水）

調査先：茨城県 神栖市 神栖中央公園（都市整備部 施設管理課）

鹿嶋市 高松地区防災公園 ほか

### 4. 研修・普及推進活動への実施

（1）防災研シンポジウム 「緑から震災を考える in 東京」 の開催

防災公園技術ハンドブック 防災公園・施設資料集 2015 の発行に併せ、東日本大震災からの復興における緑のあり方の基本を再確認し、近年の活動成果を発表するセミナーを東京にて下記の通り開催した。

開催日時 平成28年6月30日（木）13:00～16:30

会 場 日比谷コンベンションホール [大ホール]

主 催 （公財）都市緑化機構・防災公園とまちづくり共同研究会

内 容

開会挨拶 宮下 和正 （公財）都市緑化機構専務理事

#### <第1部>

- 13:05 講演 1 今日の防災公園整備の考え方と取り組み  
平塚 勇司 国土交通省都市局公園緑地・景観課 企画専門官
- 13:35 講演 2 公園緑地を活用した防災力アップ・東京都の事例  
根来 千秋 東京都建設局公園緑地部 計画課長
- 14:05 講演 3 巨大災害時における自衛隊の災害派遣活動  
河岡 二郎 防衛省陸上自衛隊 東部方面総監部総務部 地域連絡調整課長 2等陸佐
- 14:35 講演 4 熊本地震における公園緑地の被災状況と利用実態  
恵谷 真 大都市都市公園機能実態共同調査実行委員会・日本公園緑地協会
- 14:55 報告 『防災公園技術ハンドブック 施設資料集 2015』 について  
長澤 真也 防災研

#### <第2部>

- 15:25 パネルディスカッション
- コーディネーター：中林 一樹 明治大学大学院政治経済学研究科 特任教授
- パネラー：平塚 勇司, 根来 千秋, 恵谷 真, 落合直文(防災研)

参加者 150名（有料参加者のみ）

#### （2）書籍の頒布

研究会で2015年2月に発行した以下の成果の頒布を引き続き行った。また上記のシンポジウムにおいても参加者に配布し、普及に努めた。

防災公園技術ハンドブック 防災公園・施設資料集 2015

（公益財団法人 都市緑化機構 防災公園とまちづくり共同研究会 編）

本年度末時点での頒布・配布部数：857部（印刷部数：1000部）